



やぎしん たろう
八木伸太郎 議員



環境美化ボランティア登録制度の導入は

問 地域での環境美化活動のサポート体制強化や、登録団体との連携強化を進めていく必要があると考えるがどうか。

答 市とボランティア団体や団体同士のつながりが生まれ、活動の輪が広がるなどの効果が見込まれることから、登録制度導入に向けて検討していくとともに、活動実態の把握と併せて、より効果的な支援の仕組みも研究していきたい。

問 家事と育児の両立に関する負担率アンケート調査を実施し、実態把握を行う必要があると考えるがどうか。

答 本年4月から、支援が必要な家庭を優先に訪問支援事業を実施する予定である。課題やニーズを幅広く把握し、子育て世帯訪問支援事業の適用範囲などについて検討していきたい。

問 海岸清掃をした際のごみを市で回収することはできないか。

答 地域の清掃活動と同様に活動団体による運搬・処分をお願いしたい。海岸清掃をきっかけに海のにぎわいづくりにつながることを期待している。



市内環境美化運動



おおば まさあき
大場正昭 議員



スポーツレガシーを活かしたまちづくり

問 地区運動会など地域のスポーツ行事の機会が失われつつある。地域行事としてのスポーツ振興の実態をどう捉え、今後どのように地域のスポーツ振興を展開していくか。

答 それぞれの地域特性や実情に応じ、スポーツ協会各支部とコミュニティセンターを中心にスポーツ大会やニュースポーツ体験会、ウォーキングキヤラバンなど、地域主体でのスポーツ活動が実施されている。今後スポーツ協会と連携し、各支部で開催するスポーツイベントへの支援を行うとともに、市スポーツ推進委員に協力していただき、地域と連携したニュースポーツの普及やイベントの企画など、さらなる地域のスポーツ振興が図られるよう支援していきたい。



さわやかアリーナで行われたスポーツイベント

問 さわやかアリーナを有効活用したスポーツを核としたにぎわいイベントの開催を提案するがどうか。

答 にぎわいイベントの開催は、スポーツ活動だけでなく、幅広い方々に施設の魅力を知っていただくきっかけとなり、さらに、活用してもらおうことで、持続的なにぎわいの創出につながると考える。今後も施設の指定管理者と連携し、他分野と連携したイベントに取り組んでまいりたい。



なつめ ゆきひこ
夏目幸彦 議員



市民感覚・市民力を捉える指標の導入

問 第3次袋井市総合計画の指標としてmGAPや地域幸福度指標などの活用可能性は。

答 市民の意見を多角的に把握するための手段の一つとして、第3次袋井市総合計画前期基本計画の政策評価の在り方を検討する中で、総合的に整理してまいりたい。

問 小学校区内の保育所などへの入所を希望する家庭について、地域性を加味した加点をしているか。

答 小学校区内に保育所などがない地区があり、公平性に欠ける恐れがあることから、採用することは考えていない。

笠原小学校敷地内の急傾斜地崩壊対策

問 指定避難所である笠原小学校の急傾斜地崩壊対策を望むがどうか。

答 これまでの点検では、擁壁やがけ面に変化がないことを確認している。本格的な工事には莫大な費用が見込まれることを踏まえ、日常点検や維持管理、利用上の運用により、安全の確保に努めてまいりたい。



笠原小学校土砂災害特別警戒区域の一部